



今原 ゆかり 議員

女性特有のがんについて

問 15歳から39歳の若年成人を指す「AYA世代」のがん患者7万6,822人のうち、女性が75.9%を占めている。年代別にみると19歳以下の女性が5割。20～24歳で6割を超え、25歳以降は8割前後となっている。

本市における乳がん検診及び子宮頸がん検診の受診率と今後の対策は。

答 乳がん検診の受診率は22.1%、受診者数は約1,400人。子宮頸がん検診は14.5%、受診者数は約1,200人。国が目指す受診率50%と比較すると、下回っている。検診を受けるときの心理的な負担もあるが、今後は案内文も見直し、啓発に努めていく。

問 医療の進歩でがんの生存率は改善し、仕事をしながら通院治療をする方は増えている。自分らしい生活の質を保ちながら過ごす支援として、アピアランスケアの重要性は高まっている。がん患者の方の身体的、精神的な負担や社会生

活上の不安を和らげるための医療用ウィッグ購入費用の助成について、当局の見解は。

答 アピアランスケア支援については、必要とされている方の現状把握から進めていきたい。臨床心理士や保健師による相談支援を行い、がん相談センターと連携して寄り添う支援をしていく。

糖尿病性腎症重症化予防について

問 高齢化が進む中で、生活習慣と社会環境の変化に伴う糖尿病患者数の増加が課題となっている。平成30年3月に第2期高浜市国民健康保険データヘルス計画を策定しているが、糖尿病性腎症重症化予防の取り組みは。

答 特定健診受診者のうち、糖尿病に該当する方の腎臓機能を4つにレベル分けし、治療が必要な方と治療を中断している方に受診勧奨を行っている。加えて、市に請求される診療報酬や治療情報から、治療や専門的な保健指導が必要な方にも受診勧奨を実施。また、保健師が家庭訪問を行い、直接本人と面談している。平成30年度の受診勧奨対象者は8人で、受診勧奨後に受診につながった方は3人となっている。



杉浦 辰夫 議員

令和2年度予算編成に向けた市政クラブの政策提言より

問 将来の都市計画の改定と、計画の内容は。

答 今回の改定は、学識経験者を有する者等による「都市計画マスタープラン策定委員会」と、市内の「策

定部会」で調整し、令和3年度を目標に進める。都市施設の将来像と「公共施設総合管理計画」との整合を図り、都市計画の方針を検討予定。

問 公園の整備状況と、今後の整備については。

答 後世山公園の遊具の再配置として、複合遊具を整備。遊具の点検は、損傷が激しく倒壊の恐れのある施設は、随時使用禁止や撤去の措置を行う。

問 防災力を高めるための対策は。

答 「防災ネットきずこう会」の新たな取り組みとして、「みんなで考える避難所づくり」の検討会を本年度は吉浜小学校で実施し、他学区は次年度以降に順に予定。

問 新たな災害リスク別専用メールの内容は。

答 浸水実績を踏まえ、八幡町及び屋敷町の名鉄三河線沿線の地域を対象に構築予定。

問 新たな防災マップの構成は。

答 「矢作川・稗田川洪水」、「土砂災害」、「津波」、「震度分布」、「液状化」で、災害リスクごとに異なる指定緊急避難場所を明記し、表紙に備えたポケットの中に個別保管できる構成。

問 防犯・交通安全対策の新たな取り組みは。

答 令和2年度から高齢ドライバーを対象に、「後付急発進等抑制装置」の設置費に対する補助制度の検討を進める。市民には、広報たかほま、高浜市公式ホームページ、高齢者が集まるイベントでの周知を行う。

問 これからの空き家対策の予定は。

答 昨年度末に「高浜市空家等対策計画」が策定された。令和2年度は、空き家等の除却の促進として、「仮称・空家等の管理条例」の制定を、9月議会への上程を目的に予定している。空き家等の除却に対しての補助金については、「協議会」で協議予定。

